

## 取扱説明書

ご使用になる前に必ず最後までお読みください。

レーザーエイミングモジュール、  
サイレンサーは別売です。



(対象年齢18歳以上)



**警告**

失明などの重大なケガの危険があります /  
誤った取り扱い・不注意な発射は、暴発・銃弾・銃の破損につながり、  
ケガ・物品破損・事故を招く危険があります。以上の事を未然に防  
ぐために、この取扱説明書を最後まで良く読み、注意事項・マナーを  
十分認識したうえで、当製品を安全に正しくお使いください。

# KSC MARK 23

SEMI-AUTOMATIC MILITARY OFFENSIVE AIR HANDGUN

## MK 23 US SOCOM PISTOL Mark 23 PISTOL

## 1 【ガスの注入】

1. マガジンリリースを押し下げ、マガジンを抜いてください。抜いたらマガジンが温まりすぎていないことを確認します(温まりすぎているとガス充てんが十分に行なえません。次ページを参照し状況改善を行なってください)。

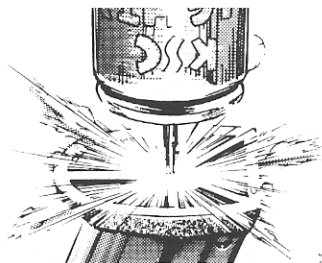
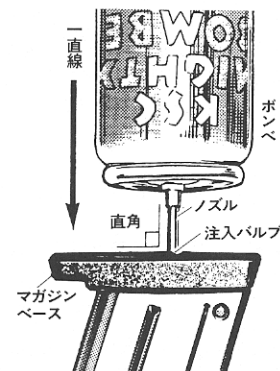
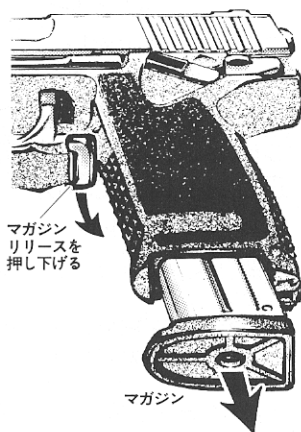
### 注意

●マガジンを床などの堅い所へ落とすと変形し、銃の不調につながります。掌で受け止めるようにしてください。また足の上に落ちてケガをしないようご注意ください

2. マガジンを逆さに持ち、マガジン底部の注入バルブにKSCマイティポンベのノズルを差し込んで、ポンベを軽く押し下げてください。この時、ポンベのノズルとマガジンの注入バルブが一直線になる(=外見上はマガジンベースとノズルが直角になる)ようにするのがコツです。うまく注入できているときはシューという音がします。

### 注意

●ポンベを押し下げたとたん液状ガスが注入バルブ周辺から吹き出す場合は、ポンベとマガジンの注入バルブが一直線になっていない時ですので、微妙に角度を修正して正常に注入できる位置をさがしてください



3. 正常な注入後、満タンになったら液状ガスが吹き出しますので注入を終了してください。しばらく放置しマガジンが常温(触ってみて熱さや冷たさを感じない程度)に戻ってから使用します。(マガジンが冷えていると正常に作動しません。)

KSC マイティポンベ500  
¥1,300 (500g入り)  
(フロンHFC134a)  
凍傷の恐れあり。  
液状ガスに注意

### 警告

#### 《ガスポンベ使用上の注意》

●KSCマイティポンベ以外は使用しないでください。特に高圧ガス等は故障の原因となるばかりでなく、破損・破裂といった危険につながることも予想されますので、絶対に使わないでください。また、指定以外のものはポンベの口金と合わず注入できないこともあります ●ガス圧を故意に上げるために暖房器具・熱湯等で加温することは絶対にしないでください。破裂の恐れがあり危険です ●注入時に液状ガスが身体や衣類につかないよう注意してください。気化冷却のため凍傷になる危険があります ●その他、マイティポンベに記されている注意内容も守ってお使いください ●上記の注意を守らずに使用して発生した故障や事故については当社は一切の責任を負えません



破裂注意



40°C以上厳禁



火に近づけない



熱湯で温めない



日光に当てない



車中放置禁止

### 警告

#### 《リキッドチャージマガジン使用上の注意》

●リキッドチャージシステムのマガジンは、ガス注入した直後、マガジン内が非常に冷却されます。そのため、ガス室の内圧が下がり、エアノズルの穴より微量のガスが漏れることがありますが、常温になると正常に戻ります。このガス漏れは、非常に微量ですので、使用上全く問題はありません ●発射時にガスを放出する際、マガジンの油分が飛ばされてしまうので、常にオイルを補充し、ベストの状態でご使用ください。(メインティ

ナンスの項参照) ●周辺温度が20℃以下の場合(冬期など)や連続発射をした時は、ガス圧が下がり、作動が鈍くなる場合があります。これは故障ではありませんから、室温などで常温に戻せば調子は回復します。決してマガジンやポンペを故意に温めないでください ●ガスが入っているマガジンを、直射日光の当る所や火気の近くなど、温度の高くなる場所に置かないでください。故障の原因となる場合もありますので、使用しないときは、マガジンからガスを全部抜いて空にしておいてください ●注入するガスは、KSC純正の“マイティポンペ”と表示されたものをご使用ください。他の種類のガスをご使用になると、故障の原因となるばかりでなく危険です。絶対に使用しないでください ●リキッドチャージシステムは、マガジンやポンペが低温になってもガスチャージできます。絶対に缶を温めないでください ●マガジンをむやみに分解すると故障の原因となります。また危険ですので絶対にしないでください ●マガジンはかなりの重さを持っているので、落下させた場合、ケガや破損の原因となります。掌で受け止めてお使いください ●使用しない時は、マガジンからガスを全部抜いて空にしておいてください。常に圧力がかかった状態ですと、ゴム類等、内部部品の負担が増し劣化を早めることになります ●ガスを放出させる際は、気化冷却のために非常に低温となりますので、ガスが手や顔にかからないようご注意ください

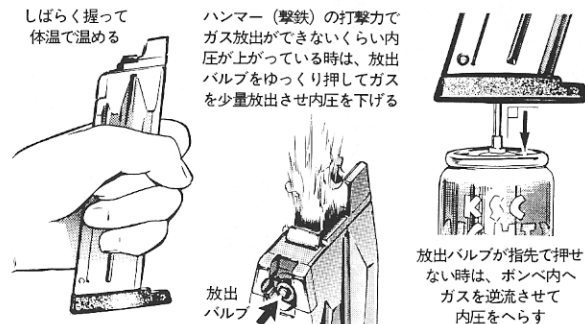
## 注意

### 《マガジン性能安定のポイント》

KSCのガスブローバックガンは、生ガス(液状ガス)を吹きながらでも正常な作動・弾道が得られるよう設計されていますが、極端に冷えすぎた場合、ブローバック作動時に送弾せずBB弾が飛ばないことがあります。このような時やガス注入時にマガジンの冷気が確認された場合は注入後に掌でしばらく握っているか、室温など20~30℃のところでしばらく放置して常温(=マガジンに触ってみて冷たくも熱くもない)状態にしてください(放置しておく際は子供の手の届かないところで行ないましょう)。また、逆に直射日光等が原因で温まりすぎてしまった場合ですが、状況によって改善策が多少異なります。①ガスが満タン(またはそれに近い状態)で温まりすぎた場合——異常な内圧の上昇により放出バルブの“はりつき現象”が起き、ハンマーの打撃力だけでは放出(=発射)できないことがあります。このような時は放出バルブを押して、ガスを少量放出して内圧を下げてください。この時、放出量が多いと全弾撃ちつくすだけのガスが残らないこともありますので注意しましょう。放出バルブが押せないほど圧力が高くなった時は、図のようにポンペを下にして注入時と同じ要領でマガジンを押すつくと、相手の内圧が同じになるまでガスが逆流し圧力の低下が得られます。こうすると放出バルブを押せるようになりますが、この場合、全弾分のガス量が残っていないことがあり、さらにマガジンが温まったままですとガス補充も十分に

は行なえません。いったんマガジンからガスを放出し(気化冷却を利用してマガジン温度を下げて)改めてガス注入を行なってから使用してください。②当マガジンは通常150発以上分のガス量が蓄えられます。性能の安定を図り、残りのガスを有効に使う意味から4マガジン分位を撃つたびにガスチャージしてください。この時、マガジンが温まりすぎていることが大切です。残りのガスが入っている状態でマガジンが温まりすぎている場合、マガジン内圧がポンペ内圧より勝り、ガス補充のつもりで作業を行ってもマガジンからポンペへの逆流を招くだけで実際にはガス補充ができていなかったということもありません。そんな時は放出バルブを押して残りガスをすべて放出したうえでガス注入を行なってください。③ガスが空の状態のマガジンが温まりすぎた場合——空とはいっても気圧分の空気は入っています。これが熱により膨張し内圧が高まっているわけですので、ガス充てんが不十分になり行なえないことがあります。空のマガジンでも放出バルブを押して外気圧(=大気圧)とマガジン内圧を同じくしてからガス注入を行なってください。④異常なほどマガジンが熱くなってしまった場合は、ガス放出・ガス注入をりかえし、気化冷却によってマガジン温度を常温(冷たくもなく熱くもない状態)に戻してから使ってください。なお、この銃の場合、前述の放出バルブの開放は、放出バルブ頭部を押すことで行なえます。最後に以上の内容をまとめること以下の3項に集約することができます。

- 銃の性能を100%引き出すにはマガジンのノウハウを身につける
- 使用時はマガジン温度をつねに常温状態(20℃以上)でキープする
- 「1チャージ4マガジン」が性能安定のポイント



※寒冷期は気化が遅く圧力も低いため、夏場より液状ガスが多く注入され気化スペースを狭くし、最初の数発は生ガスがでてしまう傾向が強まります。満タン注入後はガスを少量放出し、気化スペースを作ってください

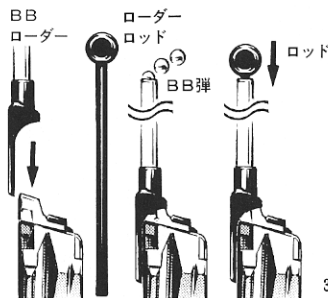
## 2 【BB弾の装てん】



警告

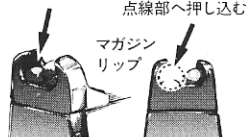
## 《BB弾使用上の注意》

●KSC製エアガン(ガスガン含む)は、全機種KSC製BB弾に合わせた設計・調整が行なわれています。言い換えれば同BB弾使用時に最も高性能が発揮できるということにもなります。以上の理由から、BB弾は必ずKSC製をお使いください。指定外のBB弾、キズがあったり変形したBB弾、改造を施したBB弾は、性能を著しく低下させるばかりか、正常な発射ができなかったり様々な作動不良の要因ともなりえます。ご注意ください。(当社への修理依頼品のうち過半数は他社BB弾使用に起因するものです。また、そのうちの半数近くはKSC製BB弾に変えただけで正常動作してしまうというのが実状です。) ●KSC製以外のBB弾を使用して発生した故障や事故については、当社では一切の責任を負えません ●BB弾は使用後必ず回収してください。幼児が飲み込んで窒息したり、誤って踏んで転倒し大ケガをするなど、思わぬ事故につながる危険性があります。また、屋外で回収を怠ると、環境破壊にもつながります



ローダーを図のようにマガジンリップ部にかぶせ密着させ、28発以内のBB弾をローダーパイプに入れ、ロッドで押し込みます。BB弾を入れ終わったら、爪先でBB弾を押し下げ、3mm以上のすきまができていないことを必ず確認してください。すきまができない時は銃が破損しますので1発抜きとってください。

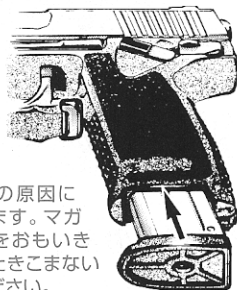
ローダーを使わずに1発ずつめる場合は真上からリップの間に押し込んでください。



注意

●指定数をこえるBB弾を無理につめこむと、破損の原因となりますのでご注意ください ●気温の変動等によりマガジン内の圧力が上がりすぎると、ハンマーの力ではガスを放出できなかったり、弾道が乱れる場合があります。そのような時は、BB弾を抜き、ガスを多少放出させ(7ページ参照)ガス圧を下げてください

## 3 【マガジンの装着】



破損の原因になります。マガジンをおもいきりたたきこまないでください。

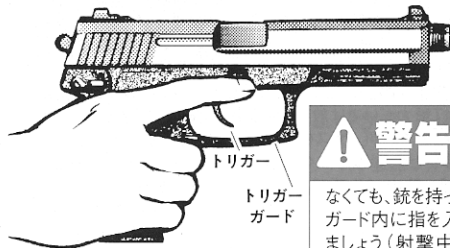
★マガジン温度を常温に保つこと、1チャージ4マガジンが性能を100%安定して発揮させるヒケツです



注意

マガジンを銃本体に戻します。この時、マガジンリリースがカチンと音をたててかかるのを確認し、念のため一度マガジンを下に引いて抜け落ちないことを確かめてください。

●銃本体とマガジンベースの間に手を挟まないようご注意ください ●万一、指定数をこえるBB弾がマガジンに装てんされている場合は、マガジンが正しく装着できません。無理をして装着しようすると銃が破損します。このような時はけっして無理をせず、BB弾を減らしたうえで装着してください



トリガーフィンガー(引金を引く指)をトリガーガードの外へ出しておく



警告

●BB弾・ガス・マガジンが銃に入っている場合、トリガーガード内に指を入れない習慣をつけましょう(射撃中は除く)。さらに銃口の向きにも常時注意しましょう



正しい操作方法を身につけて、  
快適なスポーツシューティングを楽しみましょう。

## 4 【初弾の送りこみ】



スライドをいっぱい引いて指をパッと  
はなすと、初弾がチェンバー（薬室）に  
送りこまれ、ハンマー（撃鉄）が起きた  
状態になります。

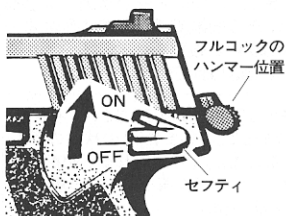
★この操作を忘れると1回目はブロウバック  
するだけでBB弾は発射しません。



**注意**

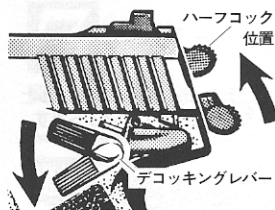
●指をそえたりしてスライドの前進を遅らせると送弾不良  
の原因になります。指をパッと離してください ●誤射・  
暴発を防ぐ意味で、射撃の直前まではチェンバーにBB弾  
を送りこまないでください。

## 5 【セフティ(安全装置)】



### マニュアルセフティ

セフティはハンマーがフルコックの時  
だけかかります。上にあげるとON  
(安全状態)、元に戻すとOFF(発射  
状態)です。



### デコッキングレバー

ハンマーをコックしてある時、デコッキング  
レバーを押し下げるとハンマーのコック  
が解除され、指をレバーから離すとハン  
マーがハーフコック位置まで倒れます。  
(これも安全装置の一種です。)

※ハンマーが倒れている時はデコッキングレ  
バーは作動しません。



**警告**

●セフティを操作する時は、不調や故障の場合を考え、  
万一暴発しても事故や器物破損がおきないように、銃口の  
向きに注意し、さらに跳弾しない配慮をしてください ●

セフティ操作中はトリガーに指をかけないでください。発射をする時以外は、つ  
ねに安全装置をかけておく習慣をつけるようにしましょう ●ハンマーを指で  
押さえてフルコックから直接ハーフコックにする方法は、万一操作を誤ると暴発・  
誤動作を招き危険です。絶対しないでください

### リアルライブ ショートリコイル

スライドを引くと、銃身が数ミリ後退し排莖口に噛んでいた  
薬室外側上部が下降してロックが外れ、その後はスライド  
だけが後退を続ける。このショートリコイルメカの再現は、  
必ずしも目新しくはありません。しかしその大半は、インナーバレルを固定しアウター  
バレルのみを動かしてショートリコイルに見せかける外観のみのタイプでした。実銃  
がバレル丸ごと動く以上、ガスBLKガンでも丸ごと動かしたい。その熟慮とKSC独  
自のガスブロウバックメカが、インナーごとアウターの動く真正正銘のショートリコイル  
を実現しました。分解して見比べてください。いかにリアルか、いかに見せかけて  
はないライブな構造か、きつとご満足いただけることと思います。



### リアルライブ デコッキング&セフティ

デコッキングレバーを押し下げるとハンマーのコックが解  
除され、レバーから指をはなすとハンマーがハーフコック  
位置まで倒れるSIG方式のハンマードロップです。セフティ  
はハンマーがコックされている時だけかかるガバメント同様のコック&ロック方式。  
ハンマーの打撃方法は慣性を利用した「ひびき打ち」タイプで、撃発後はハンマーが  
ファイリングピンから離れます。また、ハンマーダウン時にはセフティはかからずリポ  
ルバーと同様ダブルアクションで射撃できる構造にもなっています。何から何まで  
実銃どおりにリアルに再現され、実銃どおりにライブで機能するシステムなのです。



使用前

マナー

操作

ホップ

保管他

手入れ

分解

パーツ

アクセ

故障?

アフター

通販

実銃

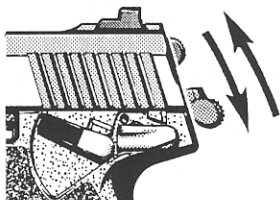
# 操作 III

## 6 【発射】

★快調作動はマガジンの温度コントロールと1チャージ4マガジンがポイントです。



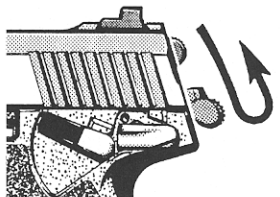
セフティをはずし、トリガーを引いてください。トリガーを引くたびにガス圧によるBB弾発射とスライド後退(ガスブローバック)が行なわれます。★スベアマガジン(¥4,000)を活用するといっそうシューティングが楽しめます。



発射の方法は次の2通りです。

### シングルアクション

ハンマーが起きている状態からトリガーを引いてハンマーをダウンさせ、発射させる方式

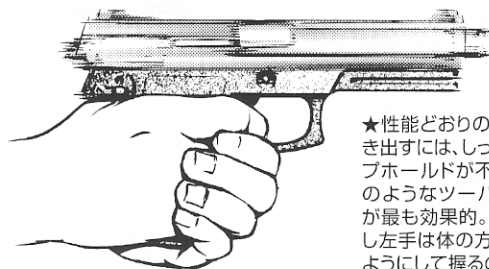


### ダブルアクション

ハンマーがダウンしている状態またはハーフコックの状態から、トリガーを引き絞ってゆく動きに連動してハンマーが起き上がり、ある位置で両者の連係がきれてハンマーがダウンし、発射させる方式

## ⚠ 注意

●銃後にブローバック時の排気を感じる場合があります。また、パワーソースとして使用しているガスの特性上、寒冷期やマガジンが冷えている場合は、作動不良が起こることもあります(6ページ“リキッドチャージマガジン使用上の注意”Aページ“マガジン性能安定のポイント”参照)。これらはいずれも故障ではありませんので、ご了承ください ●ガス残量が少なくなると、作動が悪くなり性能が安定しません。早めにガスを補充してください



★性能どおりの命中精度を引き出すには、しっかりしたグリップホールドが不可欠です。図のようなツーハンドホールドが最も効果的。右手は突き出し左手は体の方へ引きつけるようにして握るのがコツです。



## ●良くないグリップホールド

◀左手親指の位置に注意! 少しでも親指が上へズレると、後退するスライドやハンマーでケガをする恐れがあり危険です。どのようなホールドの時でも親指のポジションには注意をはらってください。

## ⚠ 警告

●銃を横にしたり逆さにして撃たないでください。液状ガス(=生ガス)がそのまま出てしまいます。この状態のガスは気化冷却のため非常に冷たく、体に触れると凍傷になる可能性があります。さらに、銃内部の特にゴム部分を凍らせてしまう場合もあり、劣化をいちじるしく進行させます。ご注意ください

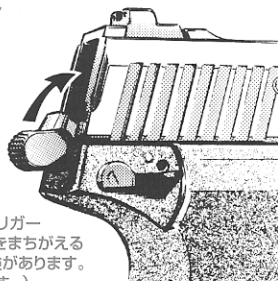
# 警告

## 《発射時の注意》

不注意な発射は失明やケガ等の危険があります。発射の際は跳弾にも十分注意し周囲の安全を必ず確認してください

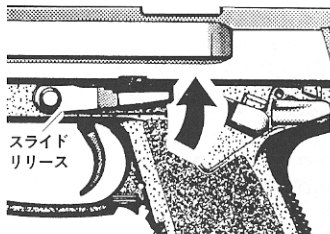
●スライドが勢よく後退します。顔を近づけないでください。また、跳弾や万一の破損による部品の飛散を想定して、シューティンググラスなどのアイプロテクション（目を保護するもの）を必ず着用し、肌を露出しない服装になるなどしてケガを未然に防ぐ方法を必ずご確認ください ●倒れてくるハンマーで指などを挟まれないよう注意してください ●撃つ・撃たない、BB弾が薬室に入っている・入っていないにかかわらず、どんな時にも人・動物・かわれやすい物に銃口を向けない、または銃口側にいない（ない）ようにしてください ●同上の理由から、万一の暴発を考え、銃口をのぞきこまないでください ●BB弾の到達距離はその時の気温、風向に多分に左右されますので、より遠く、より広範囲にわたって十分な注意をはらってください ●イタズラに他人の物、公共の物を撃つたりますことは絶対しないでください。それは犯罪です ●発射する意志があり、かつ銃口が標的に向いている時以外は、絶対に引金に指を触れないでください ●射撃を楽しんでいる以外の人がいる時や屋外の場合は、近所迷惑・誤解のないよう十分注意してください ●壊れやすい物を標的にしたり、標的の周辺に置かないでください ●跳弾は思わぬ方向に飛ぶ可能性があります。可能な限り広範囲に注意をはらってください ●複数の人で射撃を楽しむ場合は、全員にアイプロテクションの着用を義務づけ、射撃前には他の人に発射することを伝え注意をうながしてください ●必要以上の空撃ち（ガスやBB弾を使わない射撃操作）は部品の摩耗・破損につながりますので、しないでください ●マガジンが銃に装着されている時、起き起きているハンマーを指でおさえながらトリガーを引いてゆっくりとハンマーを倒す操作は絶対にしないでください。暴発し後退するスライドでケガをする危険があります

危険!!  
×



指でハンマーを戻すこと厳禁  
(ハーフコック位置までなら可能ですが、トリガーとハンマーのロックアップ操作のタイミングをまちがえると暴発し、スライド後退時にケガをする危険があります。デコッキングレバーでの操作をお勧めします。)

# 7 【ホールドオープン】



全弾撃ちつくすとスライドリリースがかり、スライドは後退位置で止まります。スライドリリースを下げるとスライドが前進し通常位置に戻ります。替えマガジンがある時は、オープン状態のまま空マガジンを抜き、替えマガジンを装着し、スライドを引くと初弾が送りこまれ再度発射準備完了です。

# 注意

●スライド閉鎖時に指を挟まないよう注意してください。この時、トリガーに指がかかっていること、銃口の向きにも注意をはらってください ●寒冷期やガス切れ・連続発射等によるガス圧不足、メンテナンス不足、グリップホールドの甘さなどが原因となって、スライドストップがかからない時がありますが、これは故障ではありません。該当する原因を改善すれば正常にもどります

# 8 【発射が終わったら】

マガジンを抜き、スライドを引いてチェンバー内に残弾がないことを確認してください。残弾がある場合、スライドリリースをかけた状態で、銃口側からロッド状のものを利用して押し出してください。



# 警告

●撃ち終わった時、撃つ意志がない時には、ただちに薬室からBB弾を抜き、決して入れたままにならないようにしてください。(誤射・暴発へつながる可能性があります)

使用前

マナー

操作

ホップ

保管他

手入れ

分解

パーツ

アクセ

故障?

アフター

通販

実銃

# ホップアップメカニズム |



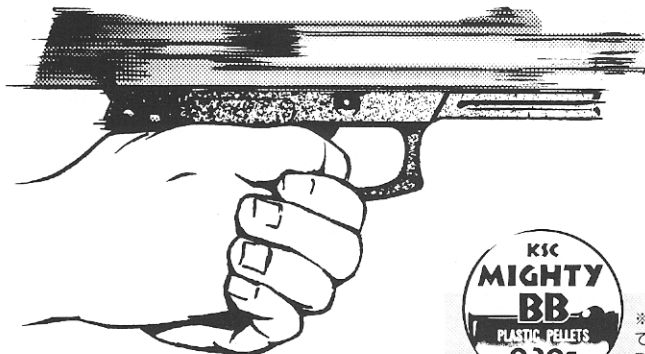
## 【ホップアップの現状】

当製品には可変ホップアップメカニズムが標準装備になっています。このメカニズムは、発射時のBB弾に意図的に一定方向（上向き）の回転を与えることで揚力を生ませ、それにより、より遠くへ水平軌道のまま（あるいは多少の放物線を描かせて）到達させることを目的に開発されています。

一般的に言われているホップアップ機能の特徴は以下のとおりです。

●無暴なパワーアップという手段を使わずにBB弾を遠くまで飛ばすことができる ●弾速はノーマルに較べ遅くなる場合もある ●タイトな機構であるため、BB弾のバラツキ、気温、湿度の変化が、ホップアップ効果の変動要因となる。

以上のように「遠くへ飛ばす」という大きなメリットと「BB弾・ガス圧といった不安定要素が、（ノーマルガン以上に）性能に影響を及ぼす」というデメリットを併せ持つのがホップアップガンなのです。ホップアップガンの性能を高水準で安定させるにはデメリットを最小限にすればいいわけで、それにはいくつかの条件を満たす必要があります。



このマークが目印!



### 注意

## 《ホップアップ性能安定の条件》

### ①BB弾を選ぶ。

同一種のBB弾で、真球度が高く、径にバラツキのないものを選び、同時に汚れ・キズ・変形等がないことをチェックのうえ使用する。なお、0.2~0.25g弾の使用がもっとも効果的（軽量弾はバラツキ等の影響が顕著に表われ弾道が安定せず、重量弾だと跳距離が伸びない）。

### ②パワー（ガス圧）を極力一定に保つ。

ポンベやマガジンの使用時の温度が一定（保管時も同様）であることが望ましい。使用の際は替えマガジンなどを用意し、使用済みマガジンは休ませてガス圧の回復を図るといった方法もデメリットを最小限にするにはベター。

### ③ラバーチェンバー、銃身内部の状態を同一条件下に維持する。

オイルのつきすぎ、不良BB弾の使用やホップのかけすぎによる弾づまり等に起因するキズ、摩耗した部品の使用などもマイナス要因となる。メンテナンス時の注油は微量多頻度で行ない（17ページ参照）条件を安定させる意味から常に注油量を一定にする、ラバーチェンバー・インナーバルレル内のオイルや汚れを定期的にクリーニングする。BB弾・ラバーチェンバーやインナーバルレルにキズ・摩耗がある場合は早めに取り換える、といった配慮が必要。

### ④大気の状態が安定している

いうまでもなく無風が望ましい。気温差も上記②に関連してホップのかかりぐあいに影響をおよぼすので配慮が必要。

※以上の4条件を満たせばその銃が持つホップアップ性能を100%引き出せる訳ですが、シューティングを楽しみながら、それらの微細な条件を常に高レベルでクリアすることは現実的には困難です。そこで考え方としては、80~90%の性能レベルを維持しつつホップアップを楽しむ、具体的にいえば10発中1発前後の弾道の乱れなら（もともと条件をクリアしていないのですから）許容範囲と考え割り切って楽しむ、というのが一般的のようです。では、ホップアップの現況説明はこれくらいにして、本製品のホップアップに関して説明してゆきましょう。

※KSCのホップアップ搭載銃はすべてKSCマイティBB弾に合わせて設計し、同BB弾によって最も性能が発揮できるよう調整されています。銃性能を生かす意味からもKSCマイティBBをお使いください。なお、当製品の場合、30度をこえるような環境下では0.25g弾、それ以下では0.2g弾の使用が命中精度の点では有効です。（0.2g弾=2,400発入り¥700、0.25g弾=1,500発入り¥750）

# メインテナンス (手入れ)



## 警告

●手入れを怠ると、たとえ買ったばかりの品でも作動不調をおこします。最終的には銃の耐久性にも影響しますので、こまめに行なってください ●メインテナンス中に工具類でケガをしないようご注意ください



## 注意

### 《使用オイルについての注意》

オイルはプラスチック用で「第4石油類」と明記されたテフロン系/シリコン系のもをお使いください。以上の表示がないものは絶対使わないでください。モデルガン/エアガンで使用されているゴム類や各種プラスチックのなかのある種の材質を傷てしまうものがあることが、当社の実験結果で確認されています。なかでも第2石油類のタイプ、金属用オイル(ミシン油、モーターオイル、CRC556などのスプレー潤滑油、錆/汚れ落としなど)は、100%といって良いほどヒ割れなどの劣化の原因となります(〇〇石油類の表示のないものも、内容成分が不明であることからお使いにならないほうが無難でしょう)。少なくともKSCガンオイルは、大半の他社製品を含め現時点でモデルガン/エアガンに使用されているほとんどのプラスチック材料をテストし異常のないことを確認済みです。安心してお使いください



## 警告

### 《KSCガンオイル使用上の注意》



火気の近くで使用しない、40℃以上のところに置かない、など、KSCガンオイルの缶に表示されている注意内容をよく読み、正しくお使いください。室内の換気、近くにオイルがつくとまぜい物がないことなどにも注意してください



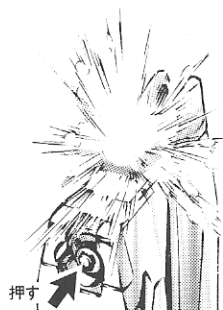
## 注意

### 《使用前点検》

何度も使っているうちにピン類が出てきたりスクリュー類がゆるんできたりすることがあります。弾が飛ばなくなる・閉鎖不良が起きるといった不調症状が表れ、故障・部品紛失の要因となりえますので定期的にチェックしましょう。特にブリーチスクリュー(パーツリスト参照)は、ガスブローバック時の振動により、ゆるみやすい傾向にあります。使用前に必ずチェックし、ゆるんでいる場合は「増し締め」してください。(「ネジロック」などのゆるみ止め剤を少量つけ固定する方法もあります。使用の際はその商品の使用方法・注意書をよく読んでからお使いください。)

## 【マガジン】

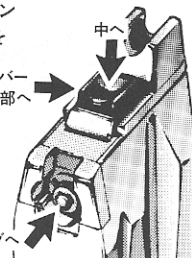
マガジン後部のバルブプレートを押すと、ガスを抜くことができます。つねにガス圧がかかった状態ですとシールドをしているゴム類に負担がかり、劣化を早めることとなりますので、発射後は、残ったガスを必ず抜いておきましょう。



KSCガン  
オイルを

ノズルラバー  
ゴム周辺部へ

放出バルブへ



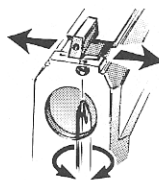
バルブプレートを押した状態で放出口(=ノズルラバー)からマガジン内部へKSCガンオイルを注入してください。また、ノズルラバー上部や、バルブプレートへも注油してください。※いずれも少量でOKです。5マガジンくらいを目安に行なってください。



## 警告

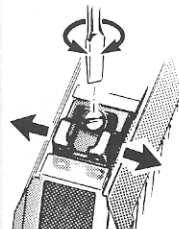
ガス放出時は、液状ガスが手や顔などに吹きかからないよう放出口の向きに注意してください。もちろん他の人や動・植物、電気製品、凍ると破損するものに対しても同様です。瞬時の冷却・凍結による凍傷・故障の原因となり危険です。

## フロント&リアサイトの調整



フロントで粗調整のちリアで微調整すると合理的

共に左右微調整ができます。フロントサイトはスライド内部のネジで、リアサイトは外側から見えるネジで固定されています。ゆるめて調整し、調整後締めてください。なお、リアサイトスクリューはブリーチ固定兼用ですので、しっかりと締めこんでください。



スクリューをゆるめて横にずらして調整し、しっかり締めこむ



つねに100%の性能を発揮させるために、銃のメンテナンスをこまめに行ないましょう。



## 【銃本体】

### ●ピストンユニット部



ピストン部に粘性の高いグリース類を使用すると100%不調・破損の原因になります。

スライドをホールドオープンさせ、銃を逆さにするとイラストの矢印部分に四角い穴が見えます。その中にシリンダー（黒いプラスチック）があり、それを精密ドライバーの先などで前方にずらし、開いた所（黄色いシンチュウが見える）にKSCガンオイルを少量吹きつけてください。

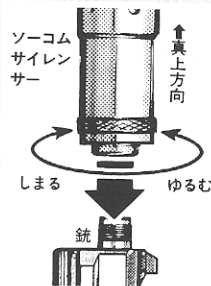
KSCガンオイル250  
（シリコーン配合潤滑スプレー）  
¥1,200（250g入り）

●ブラから金属までオールマイティーに使えます

### サイレンサーの装着

別売のソーコムサイレンサーは、銃口から出る発射ガス音をかなりの率で減音させることはできませんが、銃本体の作動音まで消すことはできません。

サイレンサーはかなりの重量があります。銃身がプラ製であるため通常の横方向で装着しようとする、その重量のためうまく締めてゆくことができず、ネジ山を痛めてしまうことも考えられます。装着の際は銃口を真上か真下に向けた状態で行っていただくほうが良いでしょう。



## ⚠ 注意

●ラバーチェンバー内にはKSCガンオイル等を使用しないでください。オイルが付着しているとBB弾がスリップして正常な弾速・弾道で発射できないことがあります。また、ラバーチェンバーの材質の関係から、オイル成分によってはゴムが膨張してくる場合もあります。以上の理由からマガジン内部、ピストンユニット部の注油は1回の注油量を必要最低限とし、定期的にごまめに行なってください（多量少頻度ではなく微量多頻度が、注油（＝メンテナンス）とラバーチェンバー内部条件を最大公約数的にベターに保つポイントとなります）。なお、弾道等に影響がでるほどにオイル分が付きすぎた場合や、その日の使用をやめたあとは、ティッシュや綿棒等でチェンバー内を必ずクリーニングしておいてください ●銃身内が汚れていると命中精度に悪影響をおよぼします。綿棒やティッシュなどで定期的にクリーニングしてください

## ●その他の可動部品

★スライドとフレームのレール部、ハンマーハウジングユニット部など可動部品の連係する部分、スプリング類などにも時どき注油してください。

★長時間使用しない時は、特にサビの出る可能性のあるスプリング類などスチールパーツを中心に、念入りにメンテナンスしてください。

## ●銃のクリーニング

## ⚠ 注意

メンテナンスはガンオイルを吹きつけるだけでOKというわけではありません。ゴミ、汚れ、水分の付着は、飛距離や命中精度の低下、作動不調の原因となりうるばかりでなく、サビの発生、部品劣化の加速にもつながります。つねにクリーンな状態を保ち、愛用の銃をいつも最高のコンディションにしておきましょう

## ⚠ 警告

●エアガンは3ページ目でも触れたとおり、悪意の改造を防止するために必要最低限の強度しかありません。使用部品の材質は主にプラスチックや強度の低い金属（亜鉛合金など）です。耐久性には限りがありますので消耗品とお考えください。特にガスブローバック作動に関連する部品は磨耗や劣化がはげしく、使用回数が増えるほど寿命は短くなります ●踏んだり、幼児がのみこんでしまうといった万一の事故を考え、BB弾、部品、メンテナンス用品は放置しないでください ●パワーアップなどの危険改造は絶対しないでください。社会に迷惑を及ぼすばかりか、銃の破損確率も高まり本人がケガをする可能性も増大し危険です。なお、誤った使い方や改造が要因となって発生した故障・事故・事件につきましては、当社はいっさいの責任を負いません

使用前  
マナー  
操作  
ホップ  
保管他  
手入れ  
分解  
パーツ  
アクセ  
故障?  
アフター  
通販  
実銃

# 分解 (組み立て)

エアガンは通常の場合、分解の必要はありません。弾づまりやメンテナンスの時以外は分解しないでください。



**警告**

●作業中に工具類や部品(特にスプリング、ボール類は飛び出してくる可能性があります)でケガをしないよう注意してください。部品・工具・メンテナンス用具は、たとえ1個でも子供の届くところには放置しないでください。ケガや、誤って飲み込んでしまい窒息するなどといった重大な事故につながる可能性があります ●分解・組み立ての際は部品をなくさないよう注意してください ●無理な分解(組み立て)や、当説明書に説明している以外の方法は、組み立てによる誤動作・部品の破損・変形につながりますので、やめてください

## 【フィールドストリップ(通常分解)】

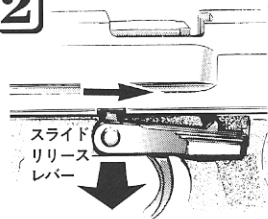
〈組み立てる時は〉

基本的に分解の逆手順(項目番号の大きい数字から小さいほうへ逆行)で行なってください。

**1**

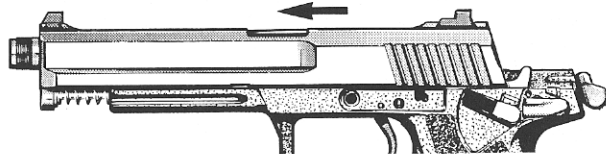
マガジンを抜き、スライドを引いて薬室に残弾がないことを確認してください。

**2**



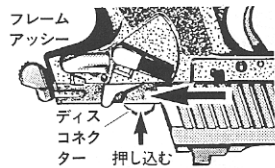
スライド  
リリース  
レバー

スライド左側面中央底部の切り欠きをスライドリリースレバー軸部に合わせると、レバーの爪部が見えます。この状態で逆側からレバーのシャフトを押せばスライドリリースレバーが左側にはずせません。次にスライドアッシーを前方に引き抜いてください。

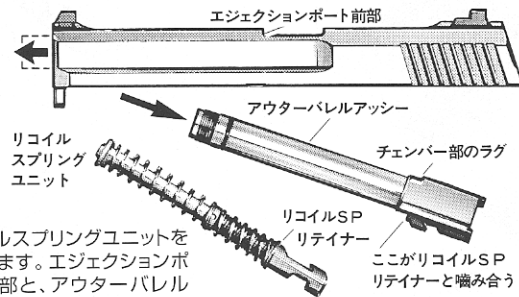


**組み立て**

スライドとフレームのレール部を合わせて組み込みます。スライドを入れてゆくとディスクコネクタに当たりますので指で押し込みながら行なってください。



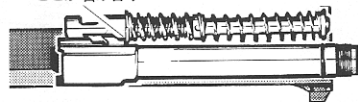
**3**



リコイルスプリングユニットをはずします。エジェクションポート前部と、アウターバレルのチェンバー部のラグが噛み合っていないようにし、そのうえでバレルを少し前にずらしてピストンとの連係をはずし、斜め下後方に抜いてください。  
★これで通常分解終了です。これ以上は、破損パーツ交換時以外は分解する必要はありません。

**組み立て**

スライドにアウターバレルアッシーを装着します。スライド銃口側の穴にバレルを通し、チェンバーのラグとエジェクションポートが噛み合う位置までバレルを後退させてください。次にここが噛み合う



※一連の作業は銃を逆さにしたほうがラクです

リコイルスプリングユニットの先端をスライド前面の穴に入れ、全体を少し前に移動すると、バレル下部と噛み合います。

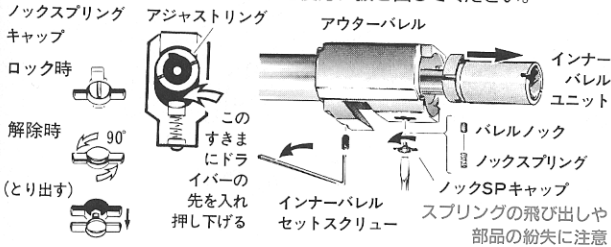
無理な分解・組み立ては、破損・ケガの原因になります。  
細心の注意をはらって行なってください。



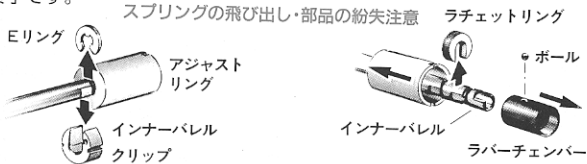
## 【バレルの分解】

★バレル交換時のみ行なってください（交換時以外は分解の必要はなく、難易度が高いためお勧めしません）。

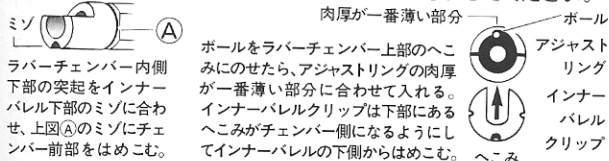
バレル下部のノックスpringキャップを90度回し、精密ドライバー（-）の先をアジャストリングとバレルノックの間に押し下げ、キャップ、spring、バレルノックをはずします。次にインナーバレルセットスクリューをはずしインナーバレルユニットを後方に抜き出してください。



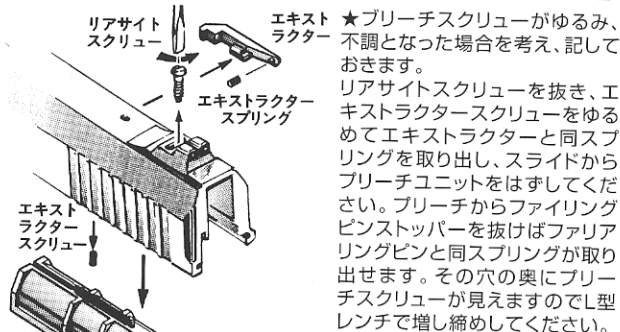
インナーバレルクリップとEリングをはずし、アジャストリングを前方へずらします。ラバーチェンバーは後方へ、ラチェットリングは上へはずしてください。最後にインナーバレルOリングとアジャストリングをはずして終了です。



《組み立て時の注意》上記手順を逆に行なってゆきますが、以下のパーツは向きがありますのでまちがえないようにしてください。



## 【ブリーチスクリューの増し締め】



★ブリーチスクリューがゆるみ、不調となった場合を考え、記しておきます。

リアサイトスクリューを抜き、エキストラクタースクリューをゆるめてエキストラクターと同springを取り出し、スライドからブリーチユニットをはずしてください。ブリーチからファイリングピンと同springが取り出せます。その穴の奥にブリーチスクリューが見えますのでL型レンチで増し締めしてください。

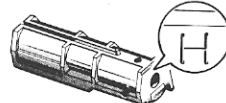
●ピストンのロッド部は、作動の安定を図るためにあえてガタをもたせてあります。多少ぐらつきますが異状ではありません。

## 【メインspringの交換】

当製品には夏用（バネ力強い/出荷時に銃に装着）と冬用（弱い/別部品で付属）のメインspringがあります。取り替える時は、ロッキングボルトを抜きインサートを下方にはずして下さい。（パーツリスト参照）

### ワンポイントアドバイス

●トリガーガードのネジ穴は実銃同様インチ規格です



●ヘヴィウエイトモデル専用のブリーチ（#134）にはABS用と区別するために「H」の刻印が入っています。微妙に寸法が異なります。混同しないようご注意ください。

使用前  
マナー  
操作  
ホップ  
保管  
他  
手入れ

分解

パーツ

アクセ

故障?

アフター

通販

実銃



# パーツリスト II

91 シアーピンワッシャー	¥ 50
92 ファイリンピンストッパー	¥ 50
121 EXシリンダーセット	¥ 1,000
(122.EXシリンダー、26.シリンダーカラー、27.同Oリングのセット)	
123 EXピストン	¥ 1,600
124 EXピストンインナー	¥ 400
125 インナーピストン	¥ 800
126 インナーピストンスプリング	¥ 100
127 EXブリーチ	¥ 1,000

## ■バリエーションパーツ

1 ソーコム/マスプロABSスライド	¥ 4,000
2 ソーコム/マスプロABSフレーム	¥ 4,000
3 ソーコム/マスプロアウターバレル	¥ 1,600
131 ソーコム/マスプロHWスライド	¥ 5,000
132 ソーコム/マスプロHWフレーム	¥ 5,000
134 HW EXブリーチ	¥ 1,000

## ■BBローダーセット/専用レンチ

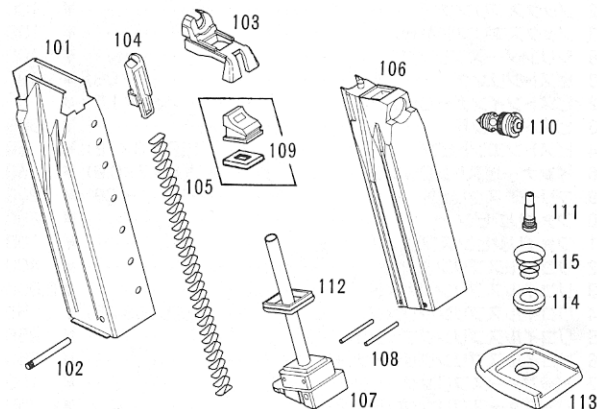
96 ホップアジャストレンチ	¥ 300
97 ローダーロッド	¥ 300
98 ローダーパイプ	¥ 500
99 ローダーファネル	¥ 300

## ■サイレンサー

151 サイレンサーアウターケース	¥ 4,500
152 サイレンサーインナーパイプ	¥ 2,500
153 バッフル(x6)	1コ ¥ 100
154 ショートバッフル(x1)	¥ 200
155 サイレンサーキャップ	¥ 1,800
156 サイレンサーインナーバレル	¥ 300

## ■マガジン

101 マガジンケース	¥ 2,000
102 マガジンケースピン	¥ 100
103 マガジンリップ	¥ 700
104 マガジンフォロアー	¥ 300
105 マガジンフォロアースプリング	(→ 93R) ¥ 400
106 マガジンインナーケース	¥ 1,800
107 マガジンインナーベース	¥ 800
108 マガジンインナーベーススピン(x2)	1コ ¥ 50
109 ノズルラバーセット	¥ 300
110 放出バルブ	¥ 800
111 注入バルブ	(→ C8) ¥ 300
112 マガジンシール	¥ 200
113 マガジンベース	¥ 800
114 マガジンベースストッパー	¥ 400
115 マガジンベースストッパースプリング	¥ 200



この表の仕様/価格は2002年2月現在のものです(表示価格に消費税は含みません)。仕様/価格は改良のため予告なく変更する場合があります。ご了承ください。